

マーケティング夏の学校



§1. 開催目的

流通・マーケティング研究の未来を担う若手研究者や大学院生たちが一堂に会して、セミナーや交流会、懇親会を共にすることを通して、以下のことを目指します。

- ① 地域・大学・ゼミを越えた人的なネットワークの形成
- ② 普段は味わうことのできない学問的刺激の獲得
- ③ 研究者（およびその卵）としての意識の高揚と見識の獲得
- ④ 自己の研究を見つめ直す（評価してもらう）機会の獲得
- ⑤ 研究の方法や分析手法に対する適切な認識の獲得
- ⑥ 論文執筆と投稿に関する適切な認識（知識と姿勢）の獲得

§2. 募集要項

- 日程: 2021年 **8月29日（日）**・**30日（月）** の2日間
- 開催方法: Zoom（オンラインシステム） ※参加 URL などは後日、参加者にお知らせします。
- 参加費: **無料**
- 募集定員: 35名程度
- 参加資格
 - ① 大学院修士・博士課程在籍者
 - ② 博士後期課程修了・退学から4年以内の研究者
 - ③ マーケティング関連分野の大学院進学志望の学部学生（※指導教員に要相談）
- 参加申し込み方法およびスケジュール
 - 2021年 **7月30日（金）** 申し込み締め切り
下記事務局宛に、メールでお知らせください。**メールのタイトルを「夏の学校参加申し込み」とし**、本文にご所属大学とお名前を記載してください。事務局で確認後、参加申し込みフォームの URL を返信します。
 - 2021年 8月14日（土） 報告資料のアップロード締め切り

申し込みならびに問い合わせ先：

マーケティング夏の学校事務

jsmd.summer.school2021@gmail.com

§3. プログラム

第1日目	8月29日(日)
09:50-10:00	Zoomに集合
10:00-10:20	開校式
10:20-12:00	セッション1 参加院生による自己紹介&研究紹介
12:00-13:00	昼食
13:00-14:30	セッション2 若手研究者の活動紹介セッション 講師: 高田 英亮 先生 (慶應義塾大学) 外川 拓 先生 (上智大学) 田頭 拓己 先生 (一橋大学)
14:30-14:45	休憩
14:45-18:00	セッション3 グループ・ディスカッション (個人研究報告)
18:00-18:30	休憩
18:30-20:30	セッション4 懇親会

第2日目	8月30日(月)
10:00-12:00	セッション5 海外研究者の研究・教育紹介セッション 講師: 石原 昌和 先生 (ニューヨーク大学) 福川 恭子 先生 (一橋大学)
12:00-12:20	閉会式

§4. 各セッションの概要

セッション1 参加院生による自己紹介&研究紹介

- アイスブレイクを兼ねて、参加者同士で簡単な自己紹介・研究紹介を行います。

セッション2 若手研究者の活動紹介セッション

- 国内外で着々と業績を上げている注目の若手研究者をお招きし、その秘訣を学びます。

セッション3 グループ・ディスカッション (個人研究報告)

- グループに分かれて、教員・参加院生とともに研究報告およびディスカッションを行い、各参加者の研究を深める場です。事前にパワーポイントなどのスライド資料をご用意いただき、当日はZoomの画面共有機能を使って報告・ディスカッションを行います。

セッション4 懇親会

- 参加者や講師の先生方と、研究内容やキャリア活動、研究者を目指すうえでのアドバイスなどについて率直に意見を交換しながら、親睦を深めます。

セッション5 海外研究者の研究・教育紹介セッション

- 海外で活躍されている研究者をお招きし、国際活動と向き合っていくためのポイントについてお話し頂きます。

§5. 講師紹介

高田 英亮（慶應義塾大学商学部教授）

2009年、慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学。2012年、博士号取得。慶應義塾大学商学部助教、専任講師、准教授を経て、2020年から現職。専門は流通チャネル論とマーケティング戦略論。現在の関心領域はチャネル選択問題への新制度派経済学の応用とマーケティングにおける技術と人材のマネジメント。『流通研究』、*Industrial Marketing Management*、*Journal of Business Research*などに論文を掲載。2014年、日本商業学会優秀論文賞を受賞。



外川 拓（上智大学経済学部准教授）

2013年、早稲田大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得。千葉商科大学商経学部准教授等を経て、2020年より現職。博士（商学）。専門は、視覚情報に対する消費者反応の分析。『流通研究』、『消費者行動研究』、*Journal of Retailing, Marketing Intelligence and Planning*などに論文を掲載。主著に『消費者意思決定の構造—解釈レベル理論による変容性の解明—』（2019年、千倉書房）。2017年日本商業学会優秀論文賞、2018年日本消費者行動研究学会研究奨励賞（青木幸弘賞）、2019年日本マーケティング本大賞などを受賞。



田頭 拓己（一橋大学経営管理研究科講師）

2017年、神戸大学経営学研究科博士課程後期課程を修了し、博士（商学）を取得。東洋大学経営学部助教、東京大学大学院経済学研究科特任助教を経て2019年より現職に至る。主な研究内容として、デジタル小売環境における企業の成果や消費者行動の変化に加え、SNSを通じた企業と消費者のコミュニケーションについての定量的な分析を行い、『流通研究』、*Journal of Interactive Marketing*、*Journal of Business Research*などに論文を掲載。また近年ではコロナ禍における消費者行動についても定量的な実証研究を行っている。



石原 昌和（ニューヨーク大学スターン経営大学院准教授）

ウイスコンシン大学マディソン校で学士・修士号、トロント大学で博士号を取得。定量マーケティング、産業組織の実証分析が専門で、特にマーケティング戦略の動態的効果、消費者や企業によるフォワード・ルッキングな意思決定、エンターテインメント業界でのマーケティングが関心領域である。*Marketing Science*、*Journal of Marketing Research*、*Quantitative Marketing and Economics*などに多数の論文を掲載。2010年、ISMS (INFORMS Society for Marketing Science) 博士論文コンペティション賞を受賞。2017年、MSI Young Scholar に選ばれる。



福川 恭子（一橋大学経営管理研究科教授）

2002 年、英国ノッティンガム大学ビジネススクールで博士課程修了。英国ブラッドフォード大学マネジメントスクール専任講師のち准教授を経て、現職。研究分野は、消費者意思決定と倫理（consumer decision-making and ethics）、社会企業責任（Corporate Social Responsibility）など。学部教育では、これまで国際マーケティング、マーケティング戦略、ビジネス倫理を担当。大学院では、研究方法論や論文の指導を通して、研究者養成に携わる。



§6. 参加者体験談

西 大輔（拓殖大学商学部）

第4回（於：神戸）、第5回（於：岡山）の2回に参加しました。私の場合、当時、同じゼミ内に先輩や同期がいなかったので参加しようと思ったのが参加のきっかけでした。

夏の学校では、大学問わず多くの先生や院生と知り合うことができ、それをきっかけにその後開催された各部会や学会で交流することができました。教員になった今でも、当時知り合ったことで交流が続いている先生や院生（現在は教員）がいます。研究についても、普段とは異なる方と議論を行うので、いつもとは違った視点から多くの学びを得ることができました。

西川 みな美（帝京大学経済学部）

夏の学校には、修士2年次、博士1・2・3年次に参加しました。私の所属大学は院生が少なかったため、他大学の方々と親睦を深められることが、参加のモチベーションでした。夏の学校をきっかけに知り合った院生や先生方も多く、現在でも研究会や懇親会を開くなど、研究生活の様々な場面で助けていただいています。初めての方も、ぜひこの機会に参加してみたいと思います。

堀口 哲生（東洋大学経営学部）

私は修士課程・博士課程の両方で夏の学校に参加させて頂きましたが、夏の学校に参加して本当に良かったと思っています。特に、普段交流する機会が多い同じ大学の大学院生だけでなく、関西や東北、九州など様々な地域から来る大学院生と仲良くなれたのは非常に良かったです。

運営委員会

学校長: 新倉 貴士（法政大学）

運営委員長: 山下 裕子（一橋大学）

運営委員: 栗木 契（神戸大学）、西尾 千ヅル（筑波大学）、寺本 高（横浜国立大学）、
田嶋 規雄（拓殖大学）、西 大輔（拓殖大学）、西井 真祐子（千葉商科大学）、
西川 みな美（帝京大）、堀口 哲生（東洋大学）